

平成26年度発達障害児支援サークル「のびのび」活動計画 ～体験型発達障害児支援事業～

【目的】

平成16年度に発足した当サークルでは、発達障害のある子ども達の自立に向けた支援としてTEACCHIに基づいた支援の手法を用いた活動を実施してきた。発足当時の子ども達は、高校を卒業し、親元を離れて生活している子もいるが、そこに至るまでには、周囲の理解と専門的な支援、そして本人が自らの障害を理解し認知することが欠かせなかったと感じている。

また、社会的には、発達障害者支援法の施行以来、認知が進んだと言われる障害だが、今なお、理解されないことで二次障害に悩む当事者や家族は少なくない。そこで、「のびのび」の活動の体験から感じたことや支援方法などを、今現在、悩むことが多い方々とも情報を共有するとともに、地域の理解者につなぐことで、二次障害を解消させる方向を導き、家族での支援について考える機会を持つ。

【期待される効果】

- ①活動で実践している支援の効果を親も体験することで、支援の効果を知ることができる。
- ②活動で体験した構造化等の支援を家庭において実践できる。
- ③日常生活の中で、専門的な支援を受けることで、発達障害のある子ども達の自立を促すことができる。
- ④活動運営を地域の方に協力していただくことで、理解を深めることができる。

【活動内容】

内容区分	内容	参加者	実施時期	
検討会議	活動の課題分析及び検証 実施する活動内容の計画	のびのび役員 アドバイザー	随時	
セミナー受講	活動に専門的な支援を取り 入れるために、各種セミナー を受講	のびのびメンバー	随時	
交流及び就 労体験活動	支援活動を通じて子ども達の スキルアップを目指すとともに、 中高校生をスタッフとして 疑似就労させることで、就労 の意味を理解し社会人として の社会性を高める	のびのびメンバー ほか参加希望者	4月～3月 計6回程度	4月いちご狩り 6月プリザーブドフラワー 11月カンパッチ 12月しめ縄 1月ひな人形(リース) 2月和菓子 発達障害児に対する支援を取り込み やすく、子ども達の興味関心のある活 動を参加者の希望をとりながら、企画 実施する。
講演会 セミナー	発達障害者支援の啓発	親・支援者等関係者	8月10日	講師 重松孝治 氏 川崎医療福祉大学特任講師